

(6) 設備投資

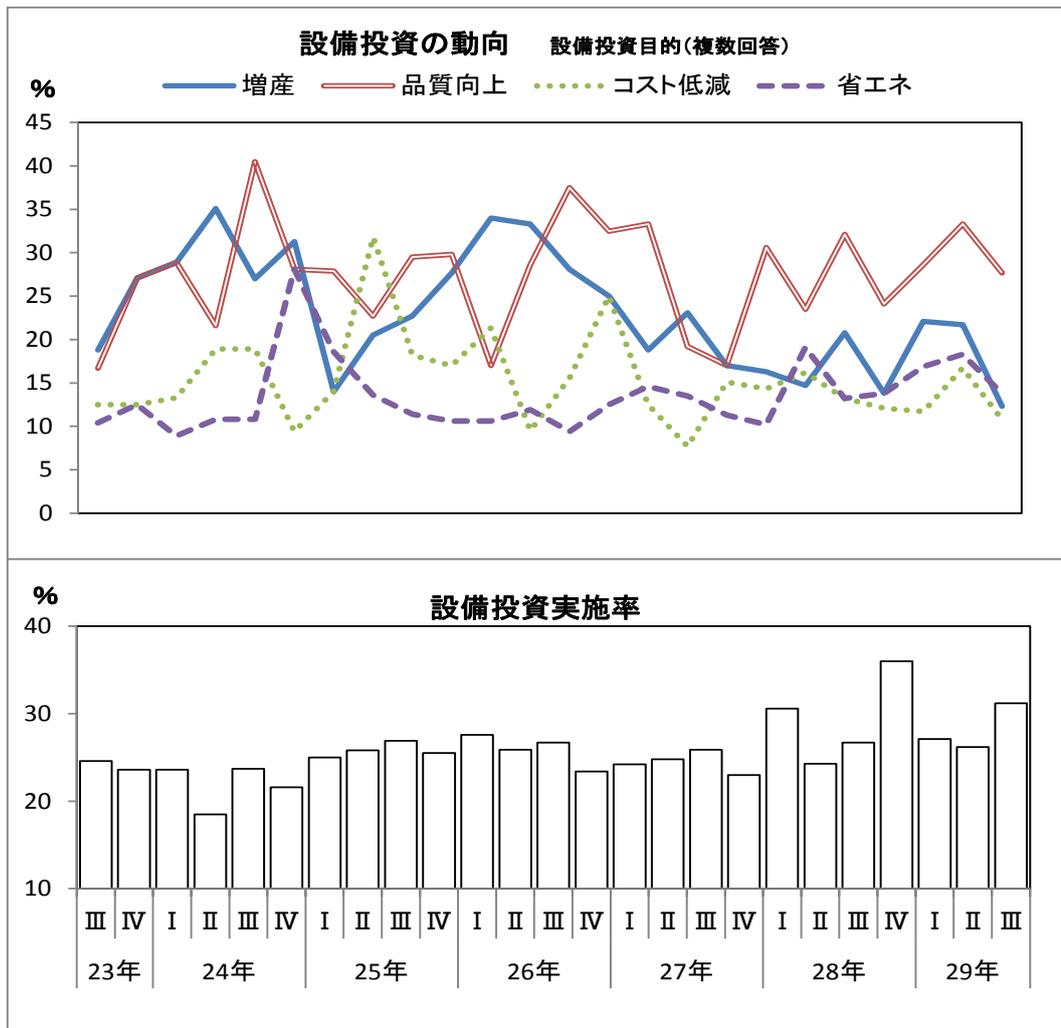
設備投資実施率については26.2%となり、前回調査より0.9ポイント下降している。業種別で最も高い実施率となったのは、「食料品」の47.9%で、目的別では、「品質向上」が27.7%でトップ、次いで「省エネ」が13.8%、「増産」が12.3%、「コスト低減」が10.8%の順となっている。

来期の設備投資計画率（29年7-9月期の設備投資計画）については31.2%となり、前回調査の31.3%から0.1ポイント下降している。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業が9.4%、「下降」したとする企業が18.8%で、DIについては▲9.4となり、前回調査の▲13.4から4.0ポイント上昇している。

【図表13、14】

【図表13】



【図表14】

	設備投資			設備操業率 前期比		
	実施	不実施	DI	上昇	下降	DI
食料品	47.9	52.1	▲4.2	8.7	15.2	▲6.5
繊維	22.6	77.4	▲54.8	8.3	12.5	▲4.2
木材	7.7	92.3	▲84.6	7.7	7.7	0.0
紙・加工品	0.0	100.0	▲100.0	12.5	18.8	▲6.3
窯業・土石	20.9	79.1	▲58.2	2.6	30.8	▲28.2
金属	17.1	82.9	▲65.8	16.0	24.0	▲8.0
機械・機器	27.5	72.5	▲45.0	14.3	18.4	▲4.1
プラスチック	45.5	54.5	▲9.0	0.0	9.1	▲9.1
合計	26.2	73.8	▲47.6	9.4	18.8	▲9.4